

令和2年度 9月 薬事委員会結果報告

1. 新規院外採用医薬品(2品目)

No	医薬品名	区分	一般名	製薬会社	規格	薬価	薬効分類	備考
1	リズムック錠10mg	先	アミジニウム	大日本住友	10mg 1錠	¥19.20	本態性・起立性・透析時低血圧治療剤	一般名称表記登録
2	エアーサロンパス100mL	—	サリチル酸メチル・ジフェンヒドラミン配合剤	久光	100mL/本	¥230.00	エアゾール式鎮痛消炎剤	

2. 販売中止(経過措置品目)医薬品(1品目): 2021年3月31日経過措置満了

No	販売中止医薬品	採用	使用	会社名	一般名	薬効分類	代替医薬品	備考
1	ATP腸溶錠「NP」(アデホスGE)	院外	ナシ	ニプロ	アデノシン三リン酸二ナトリウム	ATP製剤	アデホスコウワ腸溶錠20 トリノシン腸溶錠20	一般名称表記登録

後:加算などの算定対象となる後発医薬品(ジェネリック医薬品) 先:後発品が存在する先発医薬品 先:後発品が存在しない先発医薬品(算定にかかるシェア換算の対象外)

3. 出荷調整の採用医薬品(8品目)

No	医薬品名	会社名	一般名	薬効分類	代替医薬品	備考
1	ラグノスNFゼリー分包12g	三和化学	ラクツロース	生理的腸管機能改善剤・ 高アンモニア血症用剤	ピアーレシロップ65% 〈未採用〉ラクツロース・シロップ [®] 60%分包10mL「コウワ」	便秘症の適応なし
2	イソジンガーグル液7%	ムンディアファーマ	ホピト [®] シヨート [®]	含嗽剤	アズノールうがい液4% 5mL 含嗽用ハチアズレ顆粒2g	調整解除時期:令和2年10月頃
3	フラビタン錠10mg	トーアエイヨー	フラビンアデニンジヌクレオチド [®]	補酵素型ビタミンB2製剤	代替薬なし	安定供給再開時期:2021年1月予定
4	フラビタン錠5mg			アデノシン三リン酸製剤		
5	トリノシン腸溶錠20					
6	アデホスコウワ顆粒10%	興和	アデノシン三リン酸二ナトリウム 水和物	代謝賦活剤		
7	アデホスコウワ腸溶錠60					
8	アデホスコウワ腸溶錠20					

4. 医薬品情報室より 重要な添付文書改訂について: DSU(医薬品安全対策情報) No.290-291(2020.7-8)

医薬品一般名	メマンチン塩酸塩	119 その他の中枢神経系用剤
改訂箇所	改定内容	
[重大な副作用] 追記	完全房室ブロック、高度な洞徐脈等の徐脈性不整脈: 完全房室ブロック、高度な洞徐脈等の徐脈性不整脈があらわれることがあるので、観察を十分に行い、 異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。	

<院外>採用医薬品:メモリー錠・OD錠

医薬品一般名	クロピドグレル硫酸塩	339 その他の血液・体液用薬
改訂箇所	改定内容	
[禁忌] [併用禁忌]	削除 削除	セレキシパグを投与中の患者 薬剤名等:セレキシパグ

[併用注意]	追記	<p>臨床症状・措置方法：セレキシパグの活性代謝物の血中濃度が上昇するおそれがある。</p> <p>機序・危険因子：CYP2C8を阻害することにより、セレキシパグの活性代謝物の代謝が抑制されると考えられる。</p> <p>薬剤名等：<u>セレキシパグ</u></p> <p>臨床症状・措置方法：<u>セレキシパグの活性代謝物(MRE-269)のCmax及びAUCが増加したとの報告がある。本剤と併用する場合には、セレキシパグの減量を考慮すること。</u></p> <p>機序・危険因子：<u>本剤のグルクロン酸抱合体によるCYP2C8阻害作用により、これら薬剤の血中濃度が増加すると考えられる。</u></p>
--------	----	---

<院外>採用医薬品：プラビックス錠

5.異なるワクチンの接種間隔の見直しについて:2020年10月1日から

- ・定期接種実施要領の改正:令和2年10月1日より適用
- ・ワクチンの添付文書の改訂日:令和2年10月1日

(現行)生ワクチンは接種後27日以上、不活化ワクチンは接種後6日以上の間隔をおく

(改訂)注射生ワクチンどうしの接種間隔:27日以上(現行通り)

その他のワクチンの組み合わせ:接種間隔の制限を撤廃